



家庭学習の大切さ

校長 田畑悦郎

42日間の夏休み。おかげさまで事故もなく、無事に新学期を迎えられたことを、たいへんありがたく思います。保護者の皆様、ならびに地域の皆様の温かい声かけや見守りのおかげです。心よりお礼申し上げます。

さて、どの学校でも当たり前に見かける光景ではありますが、毎朝、各教室の教卓の上などには、子どもたちが提出した家庭学習ノート・課題帳・学習プリントなどがうず高く積まれています。その高さを見て、担任も毎朝うれしい悲鳴を上げています。

私が以前読んだ教育関係の雑誌に『家庭学習力が高い子どもは、当然、学力も高い』という記事がありました。その記事によりますと、学力の高い子どもには、いくつかの行動面の特徴があるそうです。



- ① マンガ以外のいろいろな本を読んでいる（マンガを一切読まないというわけではない。）
- ② 毎日決まった時間に寝起きするなど、生活リズムが確立している。
- ③ やり遂げる目標を持って学習している。
- ④ 世の中や社会の動きに関心を持っている。
- ⑤ 学習において、むずかしいことでも進んで挑戦している。
- ⑥ 得意分野を伸ばすための、自主的な学習を行っている。
- ⑦ 将来の自分の夢・進路との関わりで、学習することの意義を見出している。

本校でも、家庭学習の仕方については、各学年児童の発達の段階に合わせて、担任が指導しています。一例としては、友だちの家庭学習ノートの工夫しているところや、学習してきた内容など、よいところを紹介し合ったりしています。私からは、始業式の際に、「学校での一日の学習を振り返って、家庭学習で何をやるかも、自分で考えてみるようにしましょう。」と、話をしたところです。

本校の保護者の皆様には、普段からお子さんの家庭学習ノートの点検を行い、がんばりを認めていただき、感謝しているところです。高学年になれば、自分自身で点検もできますが、低学年のうち、保護者の皆様と一緒に点検していただく、より意欲がわきます。家庭学習の習慣は、学校の指導だけではなかなか身につけません。前述の『家庭学習力』をさらに身につけさせ、学力を一層高めることができるよう、これからもご協力をお願いいたします。

CS

コミュニティ・スクール

TSURUDA

発行先 さつま町立鶴田小学校運営協議会

9月：CSの日（学校開放の日）

9月14日(土)はCSの日(学校開放日)でした。約50名の方が参観されました。5・6年生は、陸上記録会の選手選考会でした。普段なかなか見ることができない授業内容だったと思います。1・4年生は国語、2・3年生は図工と様々な教科の授業を見ていただきました。お忙しい中での来校、ありがとうございました。今回は、子ども達の自己肯定感を高める一つの手立てとして、来校された方々に子ども達のがんばりやよさを書いてもらい、ボードに貼ってもらいました。子ども達がいつでも読めるように校内に掲示したいと思います。ご協力ありがとうございました。

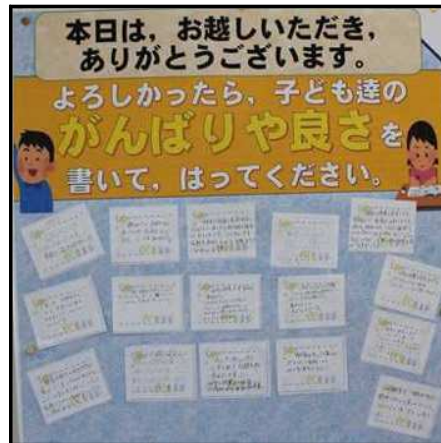
また、先月の町報に「子どもたちが輝く未来のために」と題しまして、下のように授業を参観していただく3つの視点が掲載されていました。こちらを参考に参観され、改善が必要な際は、PTAや学校評価等で教えてください。

保護者の皆様へ

授業は、次の三つの視点で参観してください。

- ① 子どもが考えたことを表現したり、友達と協力して学び合ったりする活動が多く、教師の説明は少なくなっているか。
- ② 全員に一斉一律だけではなく、子どもたち一人一人にとって適切な学びとなっているか。
- ③ 授業の始まりで既習事項が明確にされ、授業の終末段階ではその時間に学んだことが確実に定着したか確認されているか。

これらの視点で授業参観し、もし、改善が必要な場合は、教育相談や学級PTAの話題にしたり、学校評価で伝えたりしてください。



～お褒めの言葉：一例～

- 鶴田小の子ども達のあいさつに元気をもらっています。
- 体育の授業で友達を励まして、すてきでした。
- 図工の授業、集中してがんばっていましたね。

.....CS TSURUDA

さつま町夏祭り：手踊りに参加しました。

8月4日に行われたさつま町夏祭りの踊り連に鶴田小校区から「湯田区育成」「つるまるちゃんの会」の2団体が参加しました。地域や親子で笑顔いっぱい楽しく踊ることができました。ぜひ来年も参加しましょう。



つるまるちゃんの会



湯田区育成会